

知的障害者を差別しないで

富岡の施設「水土舎」30人が市内を歩く
 「飼育中のニワトリが大量死した曹長には知的障害者への偏見がある」として、富岡市後園の知的障害者施設「水土舎」(金谷透施設長)の利用者ら約30人が15日、「私たちの人間宣言」と題し市内を歩いた。プラカードなどを手に「私たちを差別しないで」「障害者が地域で自立できる社会を」と訴えた。

施設によると、敷地内の鶏舎で8日朝、ニワトリ約100羽が死んでいるのを職員が発見。鍵や動物よけのわなが取り外されていたほか、囲いの金網に直径約30センチの穴が開けられていた。県の検査で、鳥インフルエンザなどの感染症ではないこ

とが確認された。ニワトリは犬などの動物に長時間追いかけられるとショック死することがあるという。施設は有精卵を販売して収入源とするためニワトリ約1000羽を飼育していた。

金谷施設長は「明らか

に人為的で、施設に恨みがあるのか。鶏卵は施設の主力商品で、感染症が疑われるなどして迷惑

【榎谷敦子】



「私たちが差別しないで」などと訴えながら歩く参加者
 一富岡市富岡で

ニワトリ大量死 50人が抗議デモ

富岡の知的障害者施設 富岡市後園の知的障害者授産施設「水土舎」の

小屋に犬が侵入、約120羽のニワトリがショック死したとみられる一件で、施設利用者らが抗議のため富岡市内をデモ行進した。利用者や父母ら約50人が参加、富岡市役所周辺や施設周辺を歩いた。「ニワトリを返せ、命の尊厳を回復しろ」などと呼びかけた。

水土舎は卵を売り、利用者の自立生活に充てている。ニワトリの死は感染症によるものではないとお客りに説明し、売り上げは落ちていないという。

水土舎によると、8日朝、一つのニワトリ小屋のニワトリがほとんど死んでいるのを職員が発見。小屋のドアの開放止めの重しはずされていた。通常、人の手を加えないと外れないという。金網の穴も犬が食い破ったにしては、きれいに開けられており、何者かが工具類を使ったとみられるという。